

第2回定例会

3名の議員が理事者の考えを質しました。

・一般質問

一般質問



小松正義議員

町内生産品を活用する商品開発への支援について

【質問】 本町生産品を活用した商品開発の支援は、過去いくつかの取組みがあったが、その検証について伺います。

【答弁】（町長） 農業においては、昭和59年に力ボチャ工場が建設され、農業経営の安定と雇用に大きく貢献していますし、地場産品開発研究センターを中心に加工品の商品化や販売活動が行われており、最近では自家製のチーズの商品化をされる方や自ら生産するソバを販売、ソバ店も営業する農業法人が現れたり、本町農業の新たな展開が期待されます。また、商工会が中心となり昭和60年から村おこし事業で3年間、新製品の開発が行わ

町内生産品の商品開発

にかかるとの支援は！

町長、取組みに対しては関係機関とも

協力して支援したい。

れたものの事業所の都合により現在は販売されていませんが、販路開拓支援事業により佐呂間町の特産品が広く周知されたところです。

この事業と関連して開発されたかぼちゃ酒のサロマの琥珀は多くの方々に愛飲され本町のPRに大きく貢献しています。

【質問】 このような補助事業は先行きが見えないものが多い。それは町民への周知不足で盛り上がりが出ないと思うが、どう考えますか。

【答弁】（町長） 自ら開発をしようというものには更なる支援を惜しまないと考えているし、そういう団体等が出てくることを期待しています。

【質問】 付加価値向上、雇用促進につながる事業支援と商工会と

リンクした事業推進を図るべきと考えるし、各地で当該B級グルメが取り組まれる中、佐呂間町内でも特産品を取り入れた食の創製の動きがあれば、支援を行うかどうかを伺います。

【答弁】（町長） 農漁業等の地場産品加工による付加価値向上や雇用の安定拡大は、第1次産業、商工業の振興のために重要と考えます。

B級グルメは、本町でも観光物産振興においてご当地グルメの開発に取り組んでおり、その効果に期待しています。その創製の支援は、地場産品の開発奨励事業で2分の1の助成をし、新製品開発に対する関係機関の支援制度の活用もあわせて行うこととしております。

【質問】 本町の道の駅は唯一の情報

発信基地だが、周辺を開放し出店を促してはどうかと考えますが。

【答弁】（町長） 町の観光の拠点である道の駅、悠林館、更にはキムアネツ岬を含めたキャンプ場を含め見直しをしようという考えもあり、道の駅の施設の総会でもいろいろ意見交換もさせてもらっています。

国際交流事業

について

【質問】 本町にはタイ国、中国等多数の研修生が来ているが、これらの国と交流を図る考えについて伺います。

【答弁】（町長） 現在本町に研修、実習で来日しているのは128名ですが、出身地の自治体が特定できない状況で、当面受け入れ事業所による交流をと考えますが、機会があれば行政単位の交流も考えます。

町としては、研修所の開放もしてまずし、今後研修生の増加も予想されるため、公営住宅もある程度開放することも必要と考えています。

第2回定例会

・一般質問

消防体制について



三田真美議員

【質問】

遠軽地区広域組合負担金は、21年度は2億1787万円、22年度は2億1205万円でありますが、佐呂間出張所の職員の配置は22年度2名減の13名です。なぜ、2名減になったのか？

また、5月には連休中に火災も発生しています。救急要請があり消防署の事務所に誰もいない状況になっているのは、4月については8日間、5月は5日間ありました。21年度は年間28日という数字からすると大幅に不在日数が増えています。13名体制では佐呂間町の安心、安全は守れないと思いますが、町長の考

本町の消防職員の配置は適当か！

町長 2名減の影響を踏まえ

昨年までの15名確保に頑張る。

えを伺います。

また、機能別消防団員という制度もありますが、これらを設置して不在等の対処をすることはしないのでしょうか？

【答弁】（町長）

佐呂間町の消防職員の削減については、佐呂間町として承諾したわけではなく、広域組合においても協議すらされていません。

22年度は遠軽本署は1名減、佐呂間が2名減で他は21年度と変わらずで、本部の説明では、本年度退職補充のため新規採用を募集したが、満足いく応募がなく人員が減り今後も確保が難しいということになります。

しかし、本町は遠軽本部から距離もあることから緊急の応援に時間がかかることもあり現在の人員の配置には断固反対してまいります。



町の施設利用料について

【質問】

町営スキー場の利用料は、シーズン券で高校生、一般2万2680円で幼児、小学生、中学生は1万5800円ですが温暖化の影響もあるのか年々営業期間が短く、2ヶ月くらいになっています。

パークゴルフ場は半年くらいで6000円でシーズン券が購入できます。

スキー場は子ども利用が多く健康増進の観点から体育施設の使用料の見直しを検討すべきではないでしょうか。

【答弁】（教育長）

現在の使用料については町行政改革推進の中で平成18年の7月より現行の料金です。

スキー場はハード面の整備を行い、スキー教室など事業もやっており、当分の間は現行料金でお願いしたいと考えていますが、温暖化の影響により営業期間が短くなることでの料金については、使用料改定の見直しの時期にあることから、他の施設と合わせた中で回答を考えていきたいと思っております。

第2回定例会

・一般質問



但木早苗 議員

交通量の増加による若佐地区の交通安全対策について

【質問】

新サロマトンネル開通、更には丸瀬布からの高規格道路の供用開始により若佐の交通量が急速に増加したことで、若佐地区住民の交通安全対策はこれまで以上に必要かと考えます。

町が取り組めること、また警察の協力を得ながら取り組むことなどあると思いますが交通安全対策についての考えをお伺いします。

【答弁】（町長）

町の対策については、市町村関係機関、団体の他に自治会、老人クラブ、企業団体の協力を得た中で交通安全教育、広報活動の推進、交通環境の整備、街頭交通指導等を

若佐地区の交通安全対策は！

町長く各関係機関の協力により

できるだけだけの対策は講じている。

積極的に展開し交通事故の抑止に努めているところです。

特に若佐市街地区においては、道路標識の整備を含めて

の増強、警察への取締りの強化等々を要請し、既に実施の

方向で出していたいただいてお

り、佐呂間防災工事（新サロマトンネル）については中園

10線まで整備がされますが、

道路交通上の懸案でした若佐

の墓地の所から佐呂間に向か

う11線の交差点については右

折レーンが設置されることを

報告させていただきます。

もう一つは左折し啓生に向

かう所については、大型車両

の規制も要請しましたが、酪

農家もおり住民にまで規制が

かかるため対応できません。

行政の方では、「子供がいま

す」「スピードを出さないよ

うに」等の看板しか立てられ

ないのが現状です。

【質問】

パトカー巡回はどのくらいお願いしているところなのでしょうか。

【答弁】（町民課長）

遠軽、若佐、佐呂間のパトカーに1日1、2回午前、午後のパトロールを要望していきたいと考えています。

林業振興について

【質問】

基幹産業の一つである林産業の不振は、需要のほとんどが外材で占められることや関連する木材産業の倒産等々が、衰退を速める大きな要因になったのではないのでしょうか。

そういう中で今森林と林業の再生を考える動きが多くの所で起きています。高知県には林業後継者奨学金を創設し

ている町村があり後継者を育成しているそうですが、町の担い手対策や堆肥舎に町材を使っているとはいえ、それ以外の町材活用など、町長の林産業振興に対する具体的施策をお伺いします。

【答弁】（町長）

就業者の減少と高齢化等により森林管理が行き届かない状況の中で、森林組合が中心となり町内林業従事者とともに町の森林管理を担っております。

町材の利活用については、森林組合の工場処理される30センチ以上のものについては道木連を通じ販売し、他の業者に回っており積極的にはけています。

担い手の対策については確かに遅れており、本当にこれからの大きい課題だと思っております。

緑の政策（国の制度）も含めて勉強させていただきたいと思っております。

